

歴史文化の特徴	海との深い関わりの中で松浦固有の歴史文化が育まれていること	目指す方向	海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち	I 期：R6(2024)～R8(2026)年度 II 期：R9(2027)～R12(2030)年度 III 期：R13(2031)～R15(2033)年度
		基本目標	文化財を磨き、輝かせ、次世代につなぐ好循環を官民協働で生み出す	

		※計画期間の種別		継続実施	検討・協議	新規事業化										
	課題	方針	措置 ※ 重点的措置 ＝松浦党、蒙古襲来関係	実施期間				実施体制 ※()内は支援・調査対象								
				新規				民間	専門家	行政(市)						
				継続	I 期	II 期	III 期			主担当課	関係課					
調査研究	1 調査研究	① 鷹島海底遺跡における継続的な文化財発掘調査が必要です。 海との深い関わりの中で育まれてきた松浦固有の歴史文化を深掘りする調査研究の推進を目指します。	① 鷹島海底遺跡の価値を高めていく調査研究に取り組みます。	①-1 鷹島海底遺跡発掘調査の実施	1	音波探査等の事前調査結果に基づく発掘調査を実施する。					大学研究機関等	文化財課				
					2	専門家を交えて元軍沈没船の引揚げ方針等を協議する。					大学研究機関等	文化財課				
					3	元軍沈没船の発掘手法や引揚げ方針に応じた調査研究体制を検討する。					大学研究機関等	文化財課				
				①-2 鷹島海底遺跡出土遺物の調査研究	4	鷹島海底遺跡出土遺物の台帳(データベース)整備を行う。						文化財課				
					5	三次元計測等による鷹島海底遺跡出土遺物のデータ化に取り組む。						文化財課				
					6	鷹島海底遺跡出土遺物の価値づけに関する調査研究を行う。					大学研究機関等	文化財課				
				①-3 水中考古学研究センターの機能強化	7	「水中考古学の拠点づくり基本コンセプト」を官民協働で検討し、作成する。					市民団体	大学研究機関等	文化財課			
					8	水中考古学の拠点となる研究施設の整備に向けた手法等を官民協働で協議する。					市民団体	大学研究機関等	文化財課			
				② 水中遺跡の把握・周知が必要です。	② 水中遺跡の把握・周知に取り組みます。	② 未把握の水中遺跡の把握 水中遺跡の周知化	9	海岸踏査による分布調査や確認調査を実施する。							文化財課	
							10	調査に基づいて水中遺跡が確認された場合は、速やかに周知化する。							文化財課	
	③ 埋蔵文化財の保護のため、法に則った発掘手続きを促す必要があります。	③ 開発事業に合わせて発掘調査を進めます。	③ 市内遺跡発掘調査等	11	埋蔵文化財包蔵地の確認及び発掘届出制度を周知し、開発事業に合わせて埋蔵文化財包蔵地の確認調査を行う。					(市民、企業等)			文化財課			
	④ 「風俗慣習、民俗芸能」、「民俗資料」、「信仰の場」など地域の関心が高い分野において市指定に向けた調査研究に取り組みます。	④ 「風俗慣習、民俗芸能」、「民俗資料」、「信仰の場」など地域の関心が高い分野において市指定に向けた調査研究に取り組みます。	④ 未指定・未登録文化財の調査研究	12	文化財データベース(試行版)を活用して「風俗慣習、民俗芸能」、「民俗資料」、「信仰の場」等の市民の関心が高い分野から情報収集や現況調査に着手する。						大学研究機関等	文化財課				
				13	「風俗慣習、民俗芸能」、「民俗資料」、「信仰の場」等の市指定に向けた調査研究を行う。						大学研究機関等	文化財課				
	⑤ 歴史文化を知る人材の高齢化が進んでいます。	⑤ 地域住民に語り継がれる歴史文化の情報を収集するための調査に取り組みます。	⑤ 地域との連携による歴史文化の調査体制の検討	14	住民に語り継がれる地域の歴史文化の調査にあたり、地域との協働による調査体制を検討する。					所有者、保存団体、市民、市民団体、自治会等			文化財課			

歴史文化の特徴	海との深い関わりの中で松浦固有の歴史文化が育まれていること	目指す方向	海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち	I 期：R6(2024)～R8(2026)年度 II 期：R9(2027)～R12(2030)年度 III 期：R13(2031)～R15(2033)年度
		基本目標	文化財を磨き、輝かせ、次世代につなぐ好循環を官民協働で生み出す	

		※計画期間の種別										継続実施		検討・協議		新規事業化		
		課題	方針	措置 ※ 重点的措置 =松浦党、蒙古襲来関係	具体的内容				実施期間				実施体制 ※()内は支援・調査対象					
					継続	新規			民間	専門家	行政(市)							
						I 期	II 期	III 期			主担当課	関係課						
保存	2 保存修復	①	国指定史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書の見直し時期を迎えています。	①	国指定史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書を見直します。	①	国指定史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書の見直し	15	鷹島神崎遺跡の将来的な保存・活用を検討し、文化財保護法に位置付けられる保存活用計画を作成する。						大学研究機関等	文化財課		
		②	鷹島海底遺跡出土遺物の劣化を防ぐため、適切な保存・保管が求められています。	②	鷹島海底遺跡出土遺物の保存・保管に取り組みます。	②-1	元軍沈没船のモニタリングの継続	16	定期的なモニタリング調査により元軍沈没船の保全状況の確認を行う。						大学研究機関等	文化財課		
		③	継続して保存作業に取り組むため、保存・保管施設の維持管理が求められています。	③	保存作業を可能とする環境整備に取り組みます。	②-2	鷹島海底遺跡出土遺物の保存に関する研究体制の構築	17	将来的な鷹島海底遺跡出土遺物の保存・保管に活かすため、遺物の保存・保管に関するデータを蓄積する。						大学研究機関等	文化財課		
						18	専門家と連携して鷹島海底遺跡出土遺物の保存に関する研究を続ける。					大学研究機関等	文化財課					
		④	個々の文化財について、保存・活用の方針が定められていません。	④	個々の文化財に関する保存活用計画の作成を検討します。	③-1	保存・保管施設等の維持・更新	19	老朽化した保存・保管施設及び設備の修繕、更新を行う。						大学研究機関等	文化財課		
		⑤	劣化が目立つようになった文化財が数多く存在します。	⑤	文化財の劣化状況・保管状況等の確認に取り組みます。	③-2	保存・保管施設の在り方検討	20	将来的に必要となる保存・保管施設の規模を検討する。						大学研究機関等	文化財課		
	3 継承支援	①	海とつながる松浦の歴史文化を物語る無形の民俗文化財等がまだ地域の中に眠っている可能性があります。	①	海との関連が深い松浦党や蒙古襲来等に由来する無形の民俗文化財等を掘り起こし、継承を支援します。	④	県・市指定文化財に係る保存活用計画の検討	21	文化財の保存・活用の手法を模索している所有者・保存団体とともに保存活用計画の必要性を協議する。					所有者、保存団体、市民団体等	大学研究機関等	文化財課		
		②	市民生活の中で継承される無形の民俗文化財等を守り、伝えていくことが必要です。	②	文化財の継承に取り組む市民や市民団体の活動を下支えしていきます。	⑤-1	有形文化財の保存・管理	22	民間所有の文化財について定期的に保管状況の確認を行う。					所有者、保存団体等		文化財課		
						⑤-2	無形の民俗文化財に必要な道具類の保存・管理	23	無形民俗文化財に用いる民間所有の道具類の保管状況の確認に着手する。					所有者、保存団体等		文化財課		
		③	少子化や高齢化、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で文化財の継承が困難になっています。	③	継承が危ぶまれる文化財の記録・保存に取り組みます。	⑥	文化財保存修復事業への支援	24	指定・登録文化財等に関する保存修復事業を支援する。					(所有者、保存団体等)		文化財課		
		4 防災・防犯	①	文化財保管施設の台風・大雨・地震等による被災が懸念されます。	①	鷹島海底遺跡出土遺物を中心に保管展示する埋蔵文化財センターの防災対策について『国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン』等を参考に取り組みます。	①	埋蔵文化財センターの防災対策の検討	33	国が示すガイドライン等に基づいて文化財保管展示施設として必要な防災対策を検討する。						大学	文化財課	防災課
			②	防災の観点から文化財建造物の点検が必要です。	②	文化財建造物の点検を行い、『国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン』等を参考とし、所有者による防災対策の強化を支援します。	②	文化財建造物の耐震補強・防火対策等の推進	34	耐震補強や防火対策等が必要かつ可能な文化財の有無を把握し、対策実施を推進する。					(所有者、保存団体等)		文化財課	防災課
③	所有者・保存団体に対する防災対策の普及啓発が必要です。		③	所有者・保存団体の防災対策への意識向上に取り組みます。	③	防災対策などの情報提供	35	台風や大雨、地震など、災害に備えた取り組みの必要性や取り組み事例などについて周知する。					(所有者、保存団体等)		文化財課	防災課		
④	「松浦市地域防災計画」に基づき所有者と市が文化財の被災後の対応策を共有しておくことが必要です。		④	文化財の防災対策及び被災を想定した対策を検討します。	④	文化財の被災を想定した対策の検討	36	各文化財に必要な防災対策、災害時の被災した文化財の処置や避難方法を検討する。					所有者、保存団体等		文化財課			
							37	文化財の防災対策、被災時の対応について、所有者との情報共有を図る。					(所有者、保存団体等)		文化財課			
⑤	被災時には、迅速な被害状況確認と対応策の検討が求められます。		⑤	文化財防災センター等と連携した迅速な被害状況確認・復旧支援に取り組みます。	⑤	文化財防災センター等との連携による被災状況の把握・復旧支援	38	被災時は、被害状況の把握に取り組む。					所有者、保存団体等		文化財課			
⑥	美術工芸品等の所有者に対する防犯意識の普及啓発が必要です。	⑥	文化財保護ネットワーク等と連携し、美術工芸品等の所有者を中心として防犯意識の向上に向けた働きかけを行います。	⑥	文化財に対する防犯意識の向上	39	被災時は、その規模に応じて、被害状況調査や復旧・対処方法の検討について、国立文化財機構 文化財防災センターへの救援依頼を行う。					所有者、保存団体等		文化財課				
						40	文化財の災害復旧への支援に取り組む。					(所有者、保存団体等)		文化財課				
						41	文化財保護ネットワーク等と連携し、所有者に対して、防犯対策の必要性や対策案などの情報提供に取り組む。					(所有者、保存団体等)		文化財課				

歴史文化の特徴	海との深い関わりの中で松浦固有の歴史文化が育まれていること	目指す方向	海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち	Ⅰ期：R6(2024)～R8(2026)年度 Ⅱ期：R9(2027)～R12(2030)年度 Ⅲ期：R13(2031)～R15(2033)年度
		基本目標	文化財を磨き、輝かせ、次世代につなぐ好循環を官民協働で生み出す	

		※計画期間の種別		継続実施	検討・協議	新規事業化											
	課題	方針		措置 ※ 重点的措置 ＝松浦党、蒙古襲来関係	実施期間				実施体制 ※（ ）内は支援・調査対象								
					継続	新規			民間	専門家	行政(市)						
						I期	II期	III期			主担当課	関係課					
活用	5 公開発信	①	文化財の公開場所が限定的で、身近なものに感じられない状況があります。	①	松浦党や蒙古襲来などに関連する文化財の公開の場を増やします。	①-1	松浦市生涯学習センター内郷土資料コーナーの見直し	42	松浦市生涯学習センター内郷土資料コーナーを見直し、海と松浦の関りの深さを伝える文化財を本土側でも公開できるように取り組む。					所有者、保存団体、市民団体等	文化財課	生涯学習課 図書館	
		②	保存処理後の鷹島海底遺跡出土遺物の公開が進んでいません。	②	鷹島海底遺跡出土遺物を公開できる環境を整えます。	①-2	市内公共施設等での文化財公開	43	公民館や観光施設などを活用して文化財の公開に取り組む。						文化財課	生涯学習課 文化観光課	
		③	水中考古学や水中遺跡に関する取り組みが十分に知られていません。	③	水中考古学・水中遺跡の取り組みを公開します。	②	鷹島海底遺跡出土遺物の情報発信	44	保存処理が完了した鷹島海底遺跡出土遺物の公開手法を検討する。					大学研究機関等	文化財課		
					45	埋蔵文化財センターにおいて調査研究結果を活かした企画展を行う。							文化財課				
		④	地域の歴史文化に関する情報発信が十分ではありません。	④	地域の歴史文化に関する情報発信に取り組めます。	③	水中考古学・水中遺跡に関する気運の醸成	46	水中考古学・水中遺跡に関する気運の醸成に向けた講座・講演を開催する。					市民団体	文化財課	生涯学習課 図書館	
	6 学校教育・生涯学習	①	特徴的な歴史文化である松浦党に関する学びが十分とは言えません。	海と松浦との歴史的な関わりを市民を中心に伝える学校教育・生涯学習の推進を目指します。	①	海との関りが深い松浦党に関する学習機会の充実を図ります。	①	グローバルな活躍をした松浦党の伝統や誇りの未来への伝承	51	市民向け出前講座を活用して歴史文化学習の機会を提供する。					(市民団体)	文化財課	生涯学習課
									52	子どもたちへのふるさと教育機会の拡充を検討する。				市民、市民団体、商工・観光団体	文化財課	学校教育課 政策企画課	
									53	地元小中学生向け体験学習会を継続的に実施する。					文化財課	学校教育課	
									54	鷹島海底遺跡出土遺物のレプリカや文化財を活かした遺跡調査の説明パネルなど、体験学習会向け教材の追加整備を行う。					文化財課		
									55	図書館や生涯学習センターと連携したフィールドワークを実施する。					文化財課	生涯学習課 図書館	
		②	好奇心を持って水中遺跡を学ぶことができる学習機会を拡充する必要があります。	②	国史跡鷹島神崎遺跡や蒙古襲来など地域の特徴的な歴史文化の学びを更に推進します。	②		②		56	小中学校との連携により地域の文化財に触れる機会の拡充を検討する。				保存団体、自治会等	文化財課	学校教育課 生涯学習課
										57	郷土料理レシピの共有、調理方法を学ぶ交流会の開催を支援する。				市民団体	生涯学習課	文化財課 健康はげん課
		③	郷土愛を育むため、身近な歴史文化の価値を見直していく必要があります。	③	市民の郷土愛を育む歴史文化を活かした学習機会を設けます。	③		③-1	地域の文化財に触れる機会の創出	58	松浦党、蒙古襲来、鷹島神崎遺跡など歴史、文化財について、出前講座や現地見学時の案内に対応できる人材の育成に取り組む。				(市民、市民団体)	文化財課	
										③-2	地域の食文化を学習する機会づくり						
		④	地域の歴史文化をテーマとした学校教育・生涯学習に関わる人材が不足しています。	④	地域の歴史文化の語り手、継承者の育成に取り組めます。	④		④	地域の歴史文化を語る人材の育成支援								

歴史文化の特徴	海との深い関わりの中で松浦固有の歴史文化が育まれていること	目指す方向	海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち	Ⅰ期：R6(2024)～R8(2026)年度 Ⅱ期：R9(2027)～R12(2030)年度 Ⅲ期：R13(2031)～R15(2033)年度
		基本目標	文化財を磨き、輝かせ、次世代につなぐ好循環を官民協働で生み出す	

		※計画期間の種別		継続実施	検討・協議	新規事業化										
	課題	方針	措置 ※ 重点的措置 ＝松浦党、蒙古襲来関係	実施期間				実施体制 ※()内は支援・調査対象								
				継続	新規			民間	専門家	行政(市)						
					I期	II期	III期			主担当課	関係課					
7 観光振興	①	地域の歴史文化の観光資源としてのポテンシャルが十分に生かされていません。	海との深い関わりの中で育まれてきた松浦固有の歴史文化や文化財を活かした観光振興の推進を目指します。	①	地域の歴史文化を活かした観光プログラムの充実を支援します。	①-1	蒙古襲来の歴史を活かした交流人口推進事業	59	鷹島海底遺跡を活かした新たな観光プログラムを創出する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課
								60	地域の歴史文化等のストーリーを活かした広域観光の実施方法を検討する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課
								61	国外からの来訪者受入れを想定して、埋蔵文化財センター内の展示物に関する説明について多言語化に着手する。						文化財課	
								62	弘安の役750年(令和13(2031)年)事業の実施内容を検討する。					文化財課		
	②	地域の歴史文化に詳しい観光ガイド等を担える人材が減少しています。	②	地域の歴史文化を語ることができる観光ガイド等の育成に取り組みます。	②-1	歴史観光ガイド育成のためのガイドブック制作	63	松浦党関連史跡や鷹島海底遺跡及び関連文化財を活用した観光ルートを検討する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課	
							64	ガイド育成に伴い、学び手の声を活かしたストーリー性のある観光ルートを設定する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課	
							②-2	ガイドブックを活用したガイド育成支援				商工・観光団体		文化観光課	文化財課	
							②-3	多言語対応によるガイド実施体制の構築				商工・観光団体		文化観光課	文化財課	
	③	高齢化により体験型観光に携わる人材が減少しています。	③	体験型観光事業の継承を支援します。	③	伝統的ないとなみを誇りに思う人材の育成	65	歴史観光ガイド人材育成用ガイドブックを制作する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課	
							66	地域の歴史、文化財について説明できる歴史観光ガイドの育成を支援する。				(商工・観光団体)		文化観光課	文化財課	
	④	コロナ禍を経て担い手が減少するなど体験型観光が低迷しています。	④	体験型観光の活性化に向けた歴史観光のプログラム化と担い手確保を検討します。	④	体験型観光と歴史観光の連携検討	67	歴史観光ガイドの内容を、多言語で説明できる体制づくりを関係団体と検討する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課	
							68	伝統的ないとなみや地域の食文化を活かした体験型観光の担い手育成を支援する。				(商工・観光団体)		文化観光課	文化財課	
								69	体験型旅行の新たな魅力の1つとして歴史観光の位置づけを検討する。				商工・観光団体		文化観光課	文化財課
8 地域まちづくり	①	上位関連計画等の見直しにあたって、地域の歴史文化を活かすという視点が必要です。	①	上位関連計画等の見直しにあたって、地域の歴史文化に関する取組を提案します。	①	上位計画等の見直し作業等への参画	70	松浦市総合計画や第2期松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略など、まちづくりに関わる上位関連計画の見直しや各種計画の策定作業に対して、地域の歴史文化を踏まえた視点や取り組みなどを提案する。					市民、市民団体、まちづくり運営協議会等		文化財課	政策企画課 都市計画課 防災課 健康ほけん課 文化観光課 学校教育課 生涯学習課
	②	市民団体等とともに松浦固有の歴史文化を地域のまちづくりに活かすことが求められます。	②	松浦固有の歴史文化を活かした個性ある地域まちづくりを支援します。	②	松浦党、蒙古襲来関連史跡を活用したまちづくりの推進	71	梶谷城跡を核とした史跡保存・管理・活用に一体的に取り組むまちづくり活動を検討する。					市民団体、自治会、商工・観光団体		政策企画課 文化財課	文化観光課
							72	地域が発案する共感を呼ぶ歴史文化のまちづくりプロジェクトの実施を支援する。					(市民団体 商工・観光団体、まちづくり運営協議会)		政策企画課 文化財課	
							73	歴史文化のまちづくりプロジェクトに対して、クラウドファンディングの活用を検討する。					(市民団体 商工・観光団体)		政策企画課 文化財課	文化観光課
	③	地域の歴史文化を活かした広域的なまちづくりを検討する必要があります。	③	地域の歴史文化を活かし、広域的なまちづくりの枠組みを創造します。	③	蒙古襲来ゆかりの自治体をつなぐネットワークの構築	74	蒙古襲来ゆかりの自治体をつなぐネットワーク(「元寇所縁のネットワーク(仮称)」)を構築する。							文化財課	
							75	「元寇所縁のネットワーク(仮称)」における広域的な連携事業を関係自治体と協議する。							文化財課	文化観光課
	④	景観や遺跡などを活かして、地域の歴史文化を身近に感じられるまちづくり活動を検討する必要があります。	④	地域の歴史的な景観や遺跡などを活かしたイベント実施を支援します。	④	歴史文化の薫る景観を活かしたまちづくりの推進	76	史跡や景観を活かしたウォーキングイベント(公民館講座等)を実施する。					市民団体		生涯学習課	文化財課 都市計画課